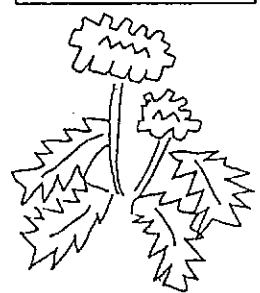


NO151
 H12年1月1日
 -発行-
 〒869-1217
 熊本県菊池郡
 大津町森54-2
 社会福祉法人
 三気の会
 三気の里
 ☎096-293-8100



憂鬱

園長 松田 健

新年早々挨拶も抜きにして「憂鬱」といった題で書くことをお許しく下さい。どうしても「おめでとうございます。」と言えない心理状態の中にいます。自閉症者を中心とした施設としての毎日の取り組みは、容易な道程ではありません。私がこのうのではなく、保護者、職員へかかる比重は、並大抵のものではありません。

「今後の知的障害者・障害児施策の在り方について（平成十一年一月二十五日）〈中央児童福祉審議会〉」において「その他の検討課題」として以下の文が記載されています。

自閉症については、基本的には、知的障害者福祉施策の中でサービスが提供されており、また、医療の必要性に応じて精神保健福祉法で対応してい

るが、自閉症等生活適応に困難を有する発達障害については、今後更に、心理的、社会的な処遇方法の開発等施策の充実を図る必要がある。

肯定的に考えるならば、今から自閉症者のことも考慮してくれるようになる、一歩前進だということになります。肯定的に考えると今頃になってやっと自閉症者について検討すると言っているのが本当に実現するのか、しかも、申し訳無い程度の短文が付け加えてあるだけだということになるでしょう。

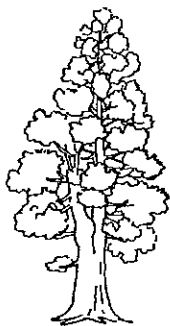
自閉症児施設に対する法的規定はありますが、成人の施設に対してはまだありません。だから、「三気の里」は自閉症者更生施設ではなく、知的障害者更生施設です。ある人が言っておられました。「国は小さいうちは自閉症児者は存在するが大人になるとない」ということは、それまでに治ると思っ

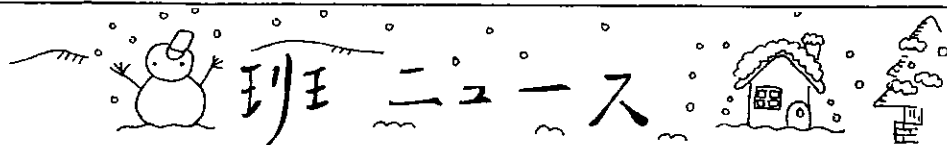
ているのではないかと。何故、綿々と愚痴を綴っているかという強度行動障害特別処遇事業（以下、強度事業と略す。）の申請をしていましたが、駄目になりそうだという情報を得たからです。他の都道府県ではとくくの昔に実施されている制度ですが、熊本県は今年から申請を募りました。全国にある自閉症者を中心とした施設の中で申請をした施設は全部認可を受けています。強度事業はまさしく自閉症者を対象とした制度です。どうしてこの制度に拘るかという職員を二名雇えるだけの補助金が下りるからです。

現在、「三気の里」では職員定数より七名多くの職員が働いています。（重度分は定数に加わりませんがそれを除いた数値です。入ると十三名になります。）このこと自体、県下の施設でも希有の事項に属すると思いますが、それで

も自閉症の人とより良くかわるうとすると足りません。あと二名職員を配置できるということが大きな意味を持っていました。（具体的な批判になってしまいうので中途の文章を省略します。別の機会に譲ります。）

他の施設や他の仕事も大変です。私たちはそれを分かつらうとさせん。同じように自閉症者にかかわる付帯状況が大変だといくら声高に叫んでも分かりにくいことだと思えます。書くにつれ憂鬱になるのですが、必ず理解してくれる人も多くいると信じています。親鸞は、人間を「石、つぶてのごとき」存在であると言いました。何も出来ない無力な存在ですが、そこかしこ、すべては変わらぬということを意味しています。制度や歴史を変えるのは「石、つぶてのごとき」存在である我々の日々の行動の積み重ねにあると信じています。





3班 - 「師走」


凍てつく朝、車の窓も凍り朝からお湯をかけ溶かすことが日課になっている今日この頃ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、私たち3班（木工班）のメンバーは去る12月13日（月）に白水村の竹の倉山荘へレクリエーションに出掛けました。この日は年に一度の忘年会で、保護者と一緒ということもあり、皆朝からとてもニコニコしていました。三気の里を11時に出発し、30分ほどで現地に到着。部屋に入ると既に豪華な料理が用意されており、席に着く前から皆の目は料理に釘付け、席に着くなりときどきいただきますの合図はまだかと、職員の顔をちらちら伺う姿に後押しされ、挨拶もほどほどに乾杯をしました。乾杯の合図と同時に（皆には乾杯が「よ〜いドンッ」と聞こえたのか、まるで100メートル徒競走をするかのように）あっという間に、食べてしまいました。ゆっくりする間もなく、今度はカラオケです。音楽に合わせてとても上手に歌う人や、体を横に揺らしながらニコニコ笑っている人、また流行曲の歌詞を自分なりにアレンジして？歌う人と、それぞれに楽しみました。食事にカラオケにと、楽しんだ後は温泉でゆっくりしたいものです。この日は寒かったせいか、皆いつもより長く温泉に浸かり、体も心も温まりました。



食事にカラオケに温泉にと、皆にとって忙しく、あっという間に過ぎた今回のレクリエーションで
山口

4班 - これって忘年会？

先生も走ると言われる師走の一日、4班農耕班はレクリエーションでクリスタルモールはませんへ食事会とカラオケに出掛けました。今回は散々悩んだあげくトイレなどの引率の関係もあり、また1999年代最後のレクという事もあって、皆んなで同じ店に入ることにしました。皆んなの思いは一つ、「質より量」ということで、焼き肉食い放題になりました。お昼時という事もあって1時間という時間制限付き、その後の様子は想像のつくとおりの「食べる園生」と「焼く職員」のバトルが延々と繰り返されました。圧巻だったのは女子園生の人も1時間中箸が止まる事なく動き続けていたということでした。その後時間調整やトイレ休憩を経てカラオケへ。入るなり曲目録ではなくてメニューを見てエビ天うどんを指さしていた新一君。まずはトップバッターでモーニング娘の「LOVEマシーン」を元気よく歌ってくれた藍ちゃん、2順目には赤いスイトピーも熱唱でした。「知ってる」といって選曲したにもかかわらず全く歌えなかった中原君の「新潟ブルース」、待ちに待った隆博君の「宇宙戦艦大和」、久美ちゃんは「ギンギラギンにさりげなく」をマッチの雰囲気たっぷりに歌ってくれました。1回目は緊張してうまく歌えなかった隆博君が「宇宙戦艦大和」をリベンジ。これなら大丈夫といったわりには今一つ元気のなかった中原君の「ドラエモン」その後は国本君が「大きな栗の木の下で」をにこやかな表情で、それを聞いていた創さんも、得意の振りこそつけなかったもののニヤニヤしていました。クリスマスソングの「ジングルベル」に体を揺すってリズムをとっていた緑恵ちゃん、マイクを回すときにこにこして声にならない声を上げていた守屋君、最後まで得意の喉を披露してくれなかった潔くん、「この歌は知ってる」と言いながらマイクを回すと恥ずかしがって歌わなかったるり子さん、最後は宮原指導員のなりきり宇多田ヒカルの「Auto matic」で締めくくりました。アルコールこそなかったものの食べて、飲んで、歌って満足のいく一日だったのではないのでしょうか。これって別に狙っていた訳ではないけど、もしかして忘年会？皆んな2000年も農作業頑張るぞーっ。
木下



6班にゆーす

6班・歩こう会発足

12月に入り、寒さも本格的になってきました。朝、外に出ると自然と鼻水も出てしまいそうなほど…しかし我が6班はそんな寒さにもめげず、新しい体制で散歩をしています。歩いても歩いても物足りない友ちゃん、真一郎くん、たっちゃんの3人。満足いく程歩いて欲しいと思い、朝はこの3人に英くんを加えてハードな散歩をすることにしました。付き添いはもっぱら阿南指導員。長距離ランナーだった彼の持久力はこの4人に負けてはおらず、60～80分の散歩の後は皆フーッと息をついて落ち着いています。他の5名はというと、朝はゆっくり準備して作業棟での課題学習。そして午後は交代して散歩。こちらの散歩は短いコースを、のんびりと歩いています。一人一人が望むように、一人一人に合うようにと、課題もそれぞれ考えていますが、今回は健脚組の体力に合わせた改善、きついながらも4人には好評のようです。6班歩こう会、今日もしゅっぱーつ！

平川

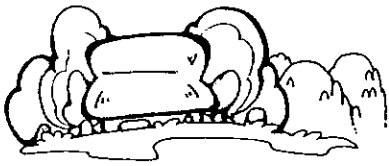
7班・待ちに待った宿レク

「車」OK、「薬」OK、「お金」OK、「その他」OK、「人数確認」OK…宮崎県へ7班園生職員＋厨房の恵良さん計13名いざ出発～！日頃の行いが良いのか、天気にも恵まれ楽しい（×2）宿レクの始まりです。11月にも関わらず太陽はサンサンとしており、半そででもOKというぐらい。浮き出る汗を拭きぶき「楽しいね。夕食にビール飲むよ。じゃーお昼は？」と、おしゃべりが飛び交います。「キキーッ。」「何？」「霧島インターにつきました。昼食にしましょう。」と運転手の石井指導員。みんな走ったり飛撥ねてレストランへ。自分の好物を注文し、みんな嬉しそうに食べましたよ。中略。さーホテルに着きました。周りはサーファーでいっぱい。ホテルの周辺は海なのです。ホテルの広さにビックリしながらもプールに入ったり、見学したり楽しみました。あゝ原稿が終わってしまう…もっと書きたーい。とにかくこれだけは言えます。この宿レクで飲み、食いが多かった為か、私は2kg太ってしまいました。年末年始の暴飲暴食を気を付けて下さい。

東内

2班・“九州のナイアガラ”を見ました。

速いものでもう師走！2000年まであとわずかとなりました。そんな中12月16日、2班は大分県の“原尻の滝”へレクリエーションに行ってきました。片道1時間半の道のりは、腰を痛めたまこちゃんには少しつらそうでしたが、大分県までの長旅は楽しいものでした。昼食では大分名物かぼす入りだご汁をペロッと食べた明日香ちゃん、さとちゃん。50m程の吊り橋を怖がってわたる幸恵ちゃん、ふみちゃん（怖くて少しおこってました。）滝の下でニコニコはしゃぐ方紀くん。滝をのぞき込むさゆりちゃん。思っていた以上に大きい“原尻の滝”に皆驚きました。素晴らしい滝でしたよ。滝を散策したあと、かぼすソフトクリームを食べ、大分の味に舌つづみさせられた1日でした。かぼすソフトクリームをもう1つ食べたそうだった博くん。ソフトクリームをスプーンで丁寧に食べた由布子ちゃんでした。“九州のナイアガラ”も見れて、大分名物も満喫できて幸せなレクリエーションだったです。（私だけかな？）今回歯科通院で行けなかった泰貴くん、来月是一緒に行こうね。江藤



班にゆうす。

3

5班・忘年会

気付いたらもう忘年会シーズンなんですよ。園芸班も忘年会をしなくては…と言う事で12月9日忘年会をして来ました。昼食をティアというお店でそれぞれの好きなものをお腹いっぱい食べ、その後カラオケへと場所を移しました。知ってますか!?橋村君って、すごくシブい声で情熱の嵐を歌うんですよ。知ってました!?やっちゃんは仮面ライダーとウルトラマン博士でウルトラマンの歌がとても上手な事を。知ってます?ウマウマラーメンという曲を。しーちゃんはノリノリで大はしゃぎをし、後ろで典くんがしっかりと歌をうたっていました。ふと清田くんを見ると頭までスッポリとカーディガンをかぶってとてもうれしそう。陽ちゃん、敬ちゃんは静かに曲に酔いしれるタイプのようです。一緒に大きな声をはり上げて歌ったり、大笑いをしたり、静かに耳をかたむけたり…とても楽しい忘年会でした。

石丸

8班・秋の宿泊レクリエーション

十一月にあった、宿泊レクリエーションの話をしします。紅葉の素晴らしい季節でしたが、南指導員のレク参加の中止(身重の為、涙を飲んで参加を取り止められました)等ちょびり、苦しい思い出の残るものとなりました。

場所は、大分県直入町にある、『翡翠の庄』というとても落ち着いた雰囲気のある立派な旅館です。この旅館に入る前に、大山町の『木の花ガルテン』で、皆の大好きなカレーのセットを食べました。中身は“きのこ”盛りだくさんのカレーで、身体にも良さそうでした。

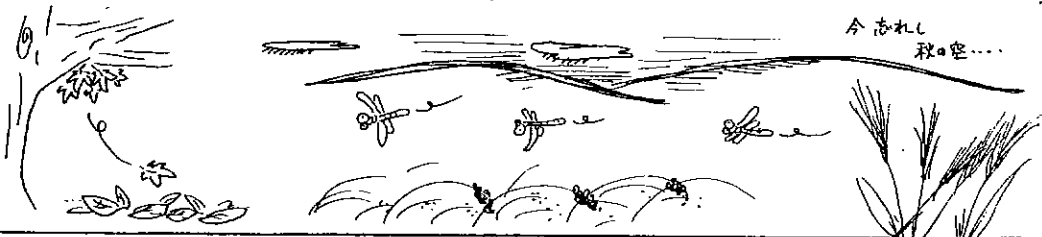
次に九酔溪という紅葉の“名所”といわれている所を訪れる予定でしたが…レク担当の私が道を誤って残念ながら、とうとう到着する事が出来ませんでした。(ご免なさい!)しかしながら、直入のお宿には予定より少々早く到着し、入浴、そして、夕食を迎えました。夕食は、うわさ通りの素晴らしさで、ゆかりさんや、宏くん等『おなか一杯です。』と言いながらも次の料理が運ばれてくると尚も次々に口にしていたくらいです。

2日目は、竹田に入り、岡城址を訪れる予定でしたが、これも道を誤り辿り着けず、やむなく次の目的地である萩町『白水の滝』へと行きました。ここにある陽目の里茶屋で予め頼んでいたそれぞれのメニュー(うどん・釜飯し・豊後牛焼き肉等)で舌鼓をうちました。囲炉裏の火が暖かく和やかな落ち着いた雰囲気に包まれました。

『白水の滝』は、百に一本足りなかった事から『白水』とつけられたのだそうですが、岩の割れ目から、切り立った頭上の岩壁の頂からと幾重にも流れ落ちる白い水は、成る程、数えて行けば百近くはありそうです。

私達一行は、木々の織り成す色とりどりの紅葉のグラデーションと、幾筋もの白い水飛沫の中、暫し幽玄の世界に心をさ迷わすことが出来ました。

坂本



1班にゆすお

1班・祝の模様替え

この時期になると、どこを歩いても鈴の音に乗って、楽しそうな音楽が流れてきます。街も赤と緑がふんだんに使われ、皆、キリストの誕生を祝います。そして、それから一週間も経つと新年を迎え、多くの人が日本の神仏の前でその年の安泰を願い、頭を下げます。毎年、この異様な光景は現在、当たり前のように見られ、いかに日本が多くの神様に見守られているのかが分かります（その分、御利益があるかどうかは別として）。まあ、そんなことは別にどうだって構いません。私もその中の一人ですから。ただ、巷には最近、見るからに怪しい宗教たちが毎日のようにニュースの中で取り上げられ、話題となっています。皆さん、くれぐれもご注意下さい。

この度、作業棟の模様替えをしました。模様替え、と言ってもただの模様替えではありません。現在、1班は11名の利用者がJT作業や教材に取り組んでいます。その中には、作業の速い人、ゆっくりな人、丁寧な人、そうでない人、と様々です。また、いくらやっても作業の終わりが見えないので不安になったり、逆に、バリバリと作業をやりたいのに待ち時間が長く、イライラしたり…。そう言った意味でも今回の模様替えは、個々の能力に応じたスペースの確保のためのもの、と言っても良いでしょう。個別化された席は、各々の作業がやりやすいように配置され、自分のペースで行える人には材料を取るところから、作業の終わりが分かりづらい人には構造化させ、視覚的に分かる様な進め方で取り組んでいます。しかし、まだまだ不備な所が多く、イメージ通り、と言う訳にはなかなか行きませんが、今後、少しずつでも作業のやりやすい環境を作ることで、皆が安心して作業を進めて行けたらイイナと思う今日この頃です。

高田

保護者

泉 美鈴

つい数カ月前の事です。ある秋の夕方、さゆりさんはいつもの様に姪の美圭を連れ団地の公園で遊んでいました。この日は秋なのに暑く、子供達もお母さん達も夕方遅くまで遊びやおしゃべりに夢中になっていました。その時一人のお母さんがさゆりさんにしきりに話しかけています。さゆりさんは恥ずかしいのかモゾモゾと答えています。何かあったのかと心配して、近付いてみると「久しぶりねえ。元気だった。」とそのお母さん。何の事かとポカンとしている私に、ご主人が養護学校でさゆりさんを教えていたと教えてくれました。早速ご主人も呼んできて、十数年振りの思わぬ再会となりました。それ以来公園で遊んでいると声をかけてくださったり「遊びにおいで。」と誘ってくれたり嬉しい限りです。こうした出合いを大切にして、もっともっとさゆりさんの世界が広がることを願っています。



食堂営業中



12月11日、餅つき大会が行われました。厨房では豚汁を準備。200人分の切り込みに追われていました。豚汁も出来上がり、会場に行ってみると、沢山のお餅がどんどん出来上がっています。「はい、一班さんからお皿を取るよ」と声を掛けると、一目散に走って来ました。（よく見ると待ちきれず他の班の園生も交じっていたりして…）そういえば数週間前から、餅つき大会のことを聞いてきたり、前日には雨が降ったから止になるんじゃないかと、心配している人もいました。皆の気持ちに通じたのか天候にも恵まれ、皆おいしい、つきたてのお餅や、豚汁、漬物を食べるのが出来ました。楽しい時間を過ごせたと思います。準備をして頂いた保護者の方、職員、ボランティアさんお疲れ様でした。

金丸

「やさしさ」

植本 英也

「やさしい」を漢字に直しなさいと言う問題があったとします。答えは2通りありますね。優しいと易しいです。辞書で意味を調べてみると優しいの意味は節度・思いやりがあって好ましい感じで、易しいの意味は扱いやすく簡単だ、です。私たち三気の里の職員はどちらのやさしさを持って(文法的には間違っているかもしれませんが)利用者と接せなければならぬでしょうか?言うまでもなく優しい方がいいでしょう。利用者は自分にとって易しい指導をしてくれる職員の方が最初は好きなことが多いです。なぜなら自分の要求を何の障害もなく受け入れてくれ(いわゆるイエスマン)、扱いやすいからです。でもこういった指導をしていけばいろんな場面で忍耐力、自分をコントロールする力がつきません。また善悪の区別ができなくなります。そうすれば注意されることが増え、お互い嫌な思いをして、悪循環になっていき

ます。それでは、優しい指導をしてくれる職員の場合はどうでしょう。利用者の全部の要求が通らず、最初のうちはぶつかることが多いのですが、知らぬ間に利用者へ忍耐力や善悪を区別する力が身につく、いろんな人に注意される機会が減るといふより誉められることが多くなり、信頼関係が芽生えて、お互いずつと好きな気持ちでいられるでしょう。この2つの違いを考えてみると易しい指導の方は目の先の楽しさ、楽な指導方法をとり、利用者の将来のことを考えていない。逆に優しい指導の方は目先の楽しさより将来の楽しさを見据えて指導していると考えられます。これからみんなが家庭や地域社会で快く受け入れられるまた快適な生活を送るためには職員が「やさしさ」を持って接していかなければいけないと思います。私も子供の頃によく怒る先生は、怖い、嫌だという気持ちで一杯でしたが、大人になって、その頃の指導がいろんな場面で役に立っていて先生の「やさしさ」が今になってひしひしと感じられ、感謝しています。私たち

も利用者の方からいつかこんなふうに見えるよう努力していかなければなりません。

職員間でも同じことが言えます。私が思うに伝えるやさしさ、伝えやすいやささと考えます。(人はそれぞれ長所短所はありますが)それぞれの職員がお互いの良い所を見つけ、言葉にして伝えてあげると伝えられた側はうれしいし、やる気が出ると思います。また改善して欲しい所をきちんと伝えてあげると(伝える側、伝えられる側双方最初はいい気持ちはしませんが)失敗が減るだろうし、できなかったことができるようになってたりなど自分にプラスになると同時に職員間の信頼関係が深まり、最終的には利用者へ喜ばれると思います。(職員同士の会話が増え、施設全体の雰囲気がよくなると考えられます。)逆に何も伝えてあげないと最初のうちはお互い楽ですが分らないことが分らないままになってしまったり、失敗が増え、結局は利用者へ迷惑をかけてしまいます。

私たちは利用者が快適な生活を

送れるよう、また地域社会に出て行けるよう「やさしさ」の意味をしっかりと理解して指導していかなければなりません。



退職にあたって
峰 高志

一身上の都合により10月31日をもって退職させて頂くことになりました六班の峯です。突然のことです、利用者の方をはじめ保護者の皆様方、また、職員の方々に御心配・御迷惑をおかけしたこと、申し訳なく思っております。三気に来て一年間、毎日充実した日々を過ごすことができました。本当にありがとうございました。三気では経験させて頂いたことを胸に、これからの人生を歩んで行こうと思えます。一年間お世話になりました。



観劇「王様の秘密」



笠松 正秀

去る12月2日に荒尾総合文化センターにて行われた、劇団四季によるミュージカル「王様の秘密」を音楽クラブの園生数名と一緒に見に行きました。遠方であったため、昼食はレストランで食べることにしました。みんな好きな食べ物それぞれを選び、笑顔を一杯浮かべながら食べていました。

腹拵えも終わったところで次は、待ちに待ったミュージカルです。みんな静かに見ることが出来るかな！と不安でしたが、音楽に合わせ手をたたいている人もいれば、一緒に歌う人、体を左右に降ったりする人、嬉しさのあまり、ピョンピョン跳ねる人もいました。(後の席に座ってた人はさぞ見にくかったと思います。)

帰りは高速道路を使い、途中のインターでおやつを買い三気の里へと帰りました。みんな最後まで楽しんでくれたかな？

福祉まつり

竹下 儀寿

12月5日(日) 大津町のオークス広場にて、第2回福祉まつりが開催されました。当日は朝から生憎の小雨もよう。しかし、私が晴れ男ということもあってか(?)次第に雨はやみ、賑やかなまつりとなりました。

三気の里からは、農耕班のホウレン草と大根、木工班のキーホルダーや押しピン、園芸班からは、金魚草が販売されどれもよく売れていました。又、おしるこも売られ寒空の中、あったか〜いおしるこは大好評で完売でした。

ステージの方では、三気の里からミュージックベルの園生のみなさんが出演し、ステキなハーモニーを奏で、会場の人々を魅了してやみませんでした。

バザーのお手伝いをしてくれた園生の坂本さん、福島さん、中嶋さん、富田さん、おつかれさまでした。また、保護者の松村さん、森川さん、大変お世話になりました。ありがとうございました。



健康診断

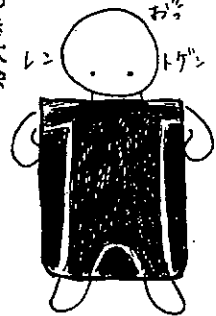
田邊 剛政

12月7日午後1時から、トレーニングルームにて健康診断を行いました。今回は、身長、体重、血圧、血液検査、問診、触診を実施。検診の中には視力検査や聴力検査が入っていますが、多くの人ができそうにもないので行いませんでした。81名の園生が、昨年は3時間程かかっていたのが今回は、2時間足らずで終わることができました。

採血するところでは、毎回すごい抵抗がみられるので男性職員がブロックに入るので、今回はそうだったこともなく、針が刺さった瞬間「ヒッ」と声を出したり、針先から片時も目を離さずすごい顔で凝視したり、いつも抵抗が強いので初からブロックをして職員の方が気合を入れているにもかかわらず、園生は平然と受けていたり、中には血管にうまく入らず何本も射られたり(それでも我慢)と、色々楽しい光景が見られました。

今回健診をして頂いた成人病健診センターの医師、看護婦、検査技師の皆様本当に有り難うござい

ました。来年も宜しくお願ひします。



餅つき大会

岩本 洋子

師も走る十二月。三気の里では、クリスマスよりも早く、餅つきがやってくる。

保護者参加のもと十一日、餅つき大会が行われた。朝早くから保護者の方に手伝っていただき薪を割り、湯を沸かし、餅をつき丸める。職員だけではなかなかこの作業は上手くいかない。さすがお父さん、お母さんと感じる。

四〜五個のお餅をあんこ、きなこ、のり巻き三種のトッピングで、どれにしようか迷う人あり、好きなものを食べ続ける人あり。そして戴いたお漬物を食べ、温かい豚汁をすすす。また食べるだけではなく、お父さんたちの餅つきの輪の中に入り、餅つきにチャレンジ。以外と杵の使い方が上手い人や杵に振り回されてしまった人。そしてお母さんたちの輪の中にも入り

餅を丸める。なかなかの手つきだ。
風は冷たいけれど、おなかもちもボカボカと暖かい。こんな素敵な餅つきができたのも皆様のおかげ。保護者の皆様、ご協力有り難うございました。



一年を振り返って

「のん気、こん気、げん気」の「ノ」の部分ぐらいままで分かるようになりまして。来年は「の」ぐらいまで、理解できるようになりたいです。



松田

「のん気・こん気・げん気」で過ごしたこの8カ月。来年は、「ひらめき・ときめき」も加えて頑張るぞー

江藤



来年も、自分らしく頑張る一年に...
麻生

三気の里にお世話になって約二カ月。混乱と疑問の毎日でしたが、とても楽しく充実して過ごす事が出来ました。



阿南

毎朝5名で行われる仕分け作業。一人一人が役割・分担を持ちその中の一人でも欠けたら大変だという事を実感した年でした。中卒田



あっと言う間の一年、充実した一年でした。新しい年は、時々振り返り考えることのできる自分でありたいです。

西山



『今年は頑張った！』と言える様、来年こそは頑張ろう。...と去年も書いたような...

広瀬



「おおらかに、細やかに、さりげなく」今年の自分にはどれも値しなかった言葉。来年はこの言葉+笑顔で出直すぞー

佐藤



新たにスタートし、公私ともに充実し中身の濃い一年でした。来年も「いい年だった」と思える様頑張ろう。

今村



一九九九年で、世界は終わるんだと子どもの頃思っていた。無事生き残った。これからの時間を大切にしていこう！

坂本



今年一年は、笑ったり、泣いたり、怒ったりの一年でした。来年はどんな年になるか...楽しみの来年です。

園田



「笑って毎日が過ごせますように」と七夕にお願いした甲斐あって、楽しい一年を送ることができました。★

井手



新しい班体制、新しい作業に取り組み戸惑いの多い年でした。今年悩んだ分、来年はステップアップを...

平川



この時期になると一年は短い、なのに毎日は長い。そんな毎日を大切にして行こう、と毎年思う。

岩本



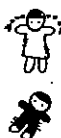
1班のリーダーとして始まったこの9カ月。他の2人に助けられる事が多く、どっちがリーダーなのか...反省。

高田



今年はどうな年だったんだろうと思いつけないくらい、あっと言う間の一年でした。

秦



一年を振り返って

本年四月より、事務長という大役を任命され光栄でもあり、ただ我武者羅にやっただけ。来年は、ペースを掴むぞ。 田之上

園生の皆とのかかわりが少し増えたので、喜んだり落ち込んだりと、気持ちの変化の多い年でしたが、楽しい一年でした。 大橋



今年園におきましては、(故)田中稔施設長のお墓が施設の一帯高い所に出来、安らかに永眠された事と、個人では国体で民泊の為、区一丸となり打ち合わせ準備等に明け暮れた年でした。 砂野

今年息をつく暇がなかった。その一言につきる。その中で花の成長に一喜一憂した年でした。 石丸



一年をこんなに早く感じたのは初めてです。来年は、いろんな事にチャレンジしてみたいです。来年も宜しくお願いします。 宮原



今年一年は皆に助けしてもらったばかりで、感謝・感謝の一年でした。来年は、少しでも恩返ししたいなあ。最後に私事ですが、母となります。 南



課せられた責任の重さを痛感した一年だった。何が出来たのか、次は何をしなければならぬのか。私事で父としての責任も重くなりました。 木下



これまでの5年間の自分の姿を振り返り、これからの自分の在り方を模索した事が、今年のエネルギー源でした。 大石



恵良として新たな人生が始まり、とても楽しい一年でした。来年も健康第一で頑張るぞー 恵良



一日一日がとても早く過ぎていき、あっという間の一年でした。これからもっと一日を大切に後悔しない過ごし方をしたいです。



今年は何事もなく、健康な日々を送ることができました。来年も今年同様頑張ります。 中山



今年体調を崩すことが多い年でした。来年は健康に気を付けて頑張りたいです。 上村



今年も短い一年に感じました。来年は健康で楽しい日々を過ごせる様に頑張りたいです。 国本



今年夏風邪をひいて、すごく苦しんで、来年は体調に気をつけていきたいと思っています。 金丸



初の社会人としての年は、あつと言う間の一年でした。たくさん学ばせていただき、良い勉強をさせて頂きました。 吉田



慌ただしく過ぎた一年だったと思います。この慌ただしさに呑み込まれないよう、これからも勉強して行きたいと思っています。 笠松



今年は無事に過ぎた一年でした。大事、小言色々あっても、それを無事乗り越えられた事が何よりでした。 田邊



一年を振り返って

何ひとつ満足にできず、御迷惑ばかりかけた一年でした。三気のみなさんと出会えたことが嬉しかったです。



竹下

いろんな事にゆとりを持って取り組めた様に思います。来年も失敗を恐れず挑戦心を持ち続けていきたいです。



矢野

気分の浮き沈みの激しい一年で、不思議な力に守られた一年だった様に思います。来年は「良い年」だったといえる様頑張るぞー

石井



今年も健康に恵まれ穏やかな年がすごせました。来年はさらに良い年になりますように...

岡田



今年はいろいろな事がありました。来年はゆっくりと年が過ぎていけばいいと思います。

前田



約二年という短い間でしたが本当にお世話になりました。良い思い出として、大切にしておきたいと思います。

蘭牟田



勤め始めて三カ月がたち、充実した生活を送れました。来年は相手の立場にたって考えることを忘れずに頑張りたいです。

石田



今年は三十路になり、体力の衰えが身に染みて感じられました。来年は気力、体力とも充実した日々を送れる様頑張ります。

榎本

我が人人生波瀾万丈な一年でした。仕事だけ楽しい日々でした。来年は、他にも楽しいこと見つけられるかなあ？

八木



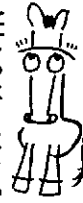
毎年あつと言う間に一年が過ぎ早五年、今年はとくに忙しい一年でした。来年は心に余裕を持って過ごしたいと思います。

山口



石の上にも三年と言いますが、一年が過ぎました。まだまだです。来年はのんきこんきげんきで頑張ります。

橘口



少しでも役にたてるようにという初心を忘れそうになりながらも、何度か思い起こした一年でした。来年も「初心忘るべからず」でがんばりたいと思います。

黒澤



九州・山口自閉症児者施設連絡協議会

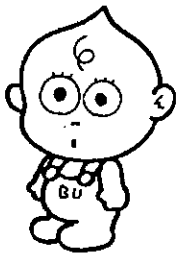
秦 弘美

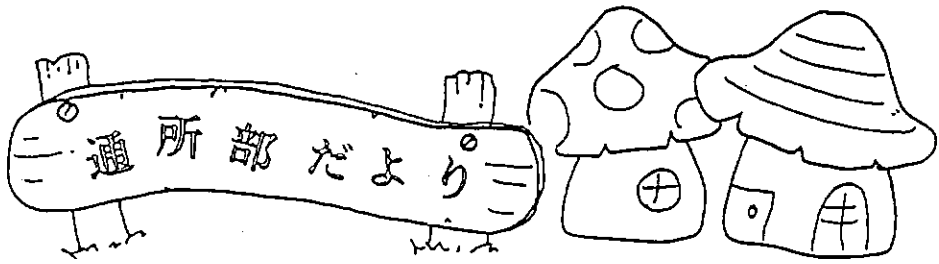
十二月二日から十二月三日、二日間に行われ九州・山口自閉症児者施設連絡協議会が福岡県、社会福祉法人志摩学園で行われました。一日目は志摩学園の説明を受け、

その後施設見学をしました。施設は何年前に建て替えたばかりでもきれいでした。その日は見学だけで終わり二日目は職員研修会が行われ各国ごとケースを発表しました。

今年の研修のテーマは「自閉症とコミュニケーションに対する援助」ということで、どの園も園生のことを熱心に考えていて、現実への努力を感じました。しかし、各園の療育方針が全く違うため、コミュニケーションの援助のやり方や考え方が、いろいろあるのだと勉強させられました。

指導員は園生一人一人に対し、どうコミュニケーションをとるべきかと一番に私の頭の中にあっただけですが、コミュニケーションという言葉にこだわらず、自然に園生にのけこむ事で信頼関係が生まれる、ということがこの研修に参加して感じました。今回この研修に参加することによって私自身勉強になり、またよい経験となりました。





1月の通所部行事予定

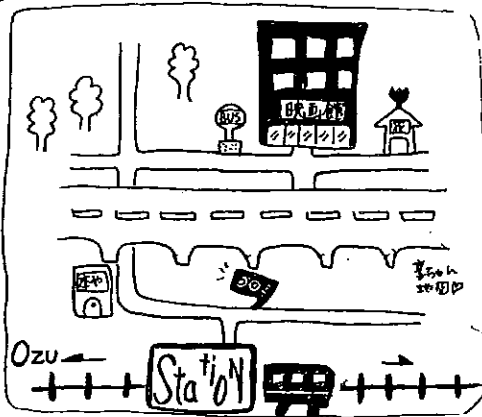
日	月	火	水	木	金	土	備考	
◆ 12月25日~1月10日 冬季帰宅訓練						■ 11日 体重測定 レクリエーション	1	
● 15日 保護者会		♪ 16日・22日・23日・29日・30日 休み					◆ 冬季帰宅訓練	
2	3	4	5	6	7	8		
初顔合わせ								
9	10	11 体重測定	12	13	14	15		
◆ 冬季帰宅訓練		■ レクリエーション			● 保護者会			
16	17	18	19	20	21	22		
休み							休み	
23	24	25	26	27	28	29		
休み							休み	
30	31							
休み								

通所部通信

夏は暑く、冬は寒い通所部作業棟にも11月よりストーブが届き、毎日ぬくぬく、のんびり...ではなく、指先をしっかりと暖め教材に取り組み、外作業に出たり、忙しい日々を過ごしています。さて今年最後のレクリエーションは、と言いますと、そりゃあ素晴らしいものでした！まずは熊本市内へ行く為にバスに乗りました。わざとイビキをかいて、こちらの様子を伺ったりとても楽しそう。運賃は自分で払います。照れ笑いをしたり戸惑う仕草をしつつも、しっかりと払うことが出来た時の表情と、いたら降りてからも興奮しており、「意識しとる」と言い、嬉しい気持ち伝えていました。モスバーガーでは、メニューカードを使い自分で注文、支払いをしました！これまたとっても嬉しそう。次は享ちゃんの好きなプロレスの本を買いに本屋へ。手に取って見ては「いいけど、全日本だん」と何やら専門的な事をつぶやいて、納得しない様子。結局3軒まわり、やっ


と欲しいプロレスの本を見つけた享ちゃん。欲しいものしか選ばない、妥協しないその姿に感心しました。レジに持って行き、お金を払う姿にジーンとききました。隠れて見ていたのに、何故か見つかっていた今村さん。お尻かおなかが出ていたのかしら...。嬉しい気持ちで周りも伝わり、話しかけてくる人も。「学校は？」「卒業しました」「家は？」「上立田」等等。しっかりと受け応えしていました。

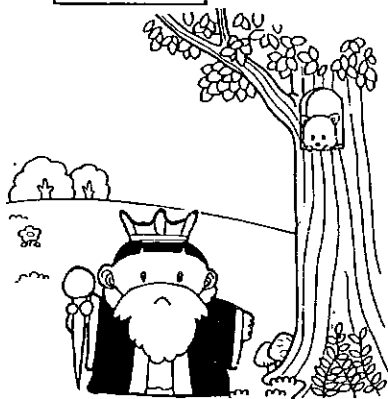
享ちゃんの嬉しい、楽しいがいっぱい伝わった、自信のついたレクリエーションでした！
西山



歳 2000年 歳

1 月 の 行 事 予 定

月	火	水	木	金	土	日	備 考
					1	2	
酉 舞永くん・光記くん・一草くん・絵くんお誕生日おめでとう! 香 2日(日)初顔合わせ 興 15日(土)保護者会 杓 27日(木)誕生会 / 28日(金)たんぼぼ編集日 昌 29日(土)帰宅バス 冨 10日(月)成人式(杉本くん・麻衣ちゃんおめでとう!) ㊦ 冬季帰宅訓練12月26日(日)~1月9日(日)まで						香 初顔合わせ	
3	4	5	6	7	8	9	
						舞永くんの誕生日(28) 冬季帰宅訓練終了	
10	11	12	13	14	15	16	
冨 成人式 (杉本くん・麻衣ちゃん)		昌 3班レク;	昌 4班レク		興 保護者会 光記くんの誕生日(28) 昌 2班・8班レク		
17	18	19	20	21	22	23	
昌 7班レク	昌 1班レク	昌 6班レク	昌 5班レク				
24	25	26	27	28	29	30	
			杓 誕生会	一草くんの誕生日(31) / たんぼぼ編集日	昌 帰宅バス	絵くんの誕生日(30)	
31							



ボランテニア通信

寒さも厳しくなり、厚手の服が手放せない季節となりました。みなさんお風邪など引かれていないでしょうか。

後数日で一年も終わろうとしています。この一年間を振り返って見るとボランテニアに来られた方の沢山の協力があつた一年間だったと思います。大変感謝しています。ありがとうございます。

2000年も色々な人達との出会いを期待し、1999年に幕を閉じたいと思います。

（ボランテニアありがとう） 笠松

☆餅つき大会

南原 卓也
杉本 恵
柏木あすか
※敬称略

後援会ありがとう



佐藤 一代・村上 久幸
副島 珠希・松木 伴良
※敬称略

後援会募集のご案内

三気の里では、後援会を募集しています。御入会頂いた方には、毎月発行している機関紙「たんぼぼ」をお送り致します。

振り込み先

口座番号
01970-8-114902
社会福祉法人 三気の会後援会
保護者会代表 魚谷 秀文 宛

住所

熊本県菊池郡大津町森54-2

編集後記

このたんぼぼが届く頃は2000年。たんぼぼ編集員は、眠い目をこすりながらも、三気の里1999年の出来事を伝えようと奮闘しているところです。さあーってあとひと踏ん張り。

一口 3千円

岩本